

災害食のアンケートとテスト

新潟市消費者協会新潟支部

自然災害が頻発する昨今、市民の食糧備蓄の参考となるよう、災害食について調査しました。主な調査内容は①「災害食に関する市民の意識アンケート調査」②モニターによる「災害食品や発熱剤の使用テスト」です。

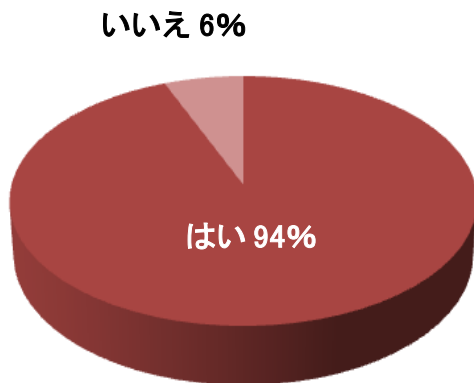
災害食に関する 市民のアンケート結果

実施期間 平成 26 年 8 月～平成 26 年 10 月
対象 新潟市消費者協会会員と新潟市一般市民
回答者 338 人（回収率 67. 67%）

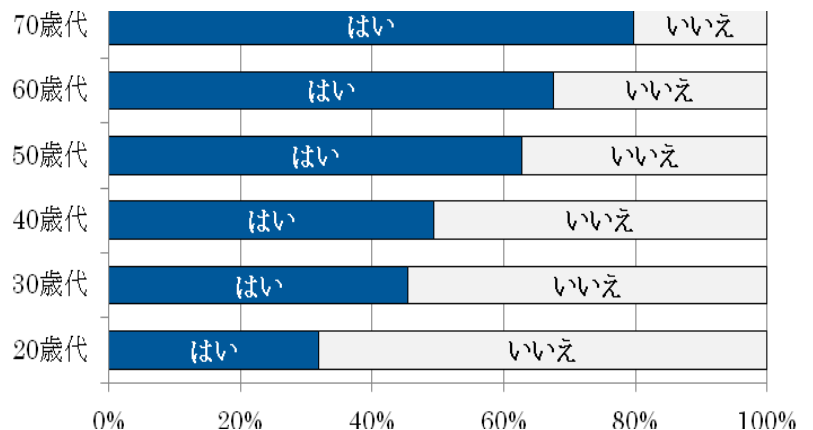
今調査で対象とした 災害食にふさわしい食品

- ①普段から食べていて、電気・ガス・水道がストップしても食べることができる
- ②災害時の生活に役立つ
- ③常温保存できる
- ④賞味期限の長さによりこだわらない（概ね、6 カ月以上あればよしとする）

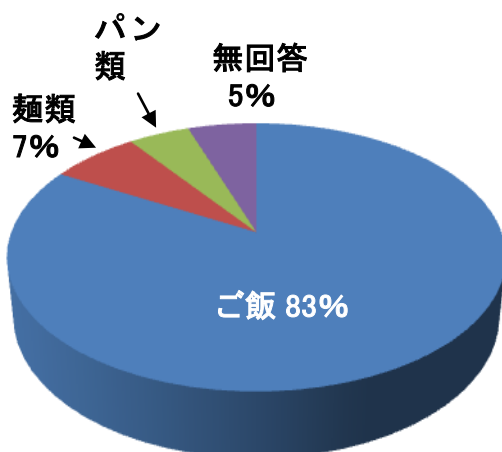
災害食があることを知っていますか



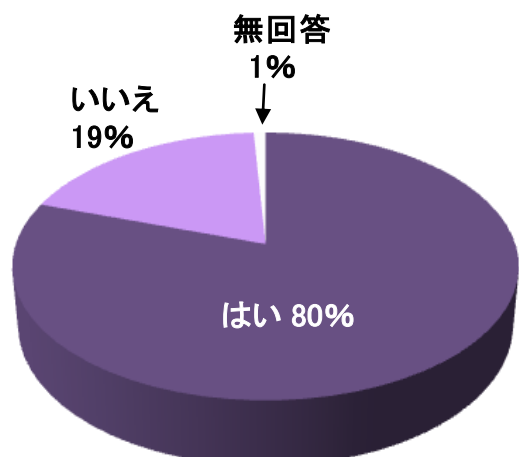
災害食を用意していますか



災害に遭った時、いちばん食べたい主食は
なんですか



今後、災害食の備蓄を考えていますか



モニターの使用テスト結果（モニター30人）

災害時ライフラインがストップしてもそのまま、もしくは水を加えれば食べられる主食の米飯5品と、災害に遭われた方が、「温かい食事がしたい」という声があったということで、発熱剤も加え、使用テストを行いました。

ライス 72H 、ボンカレー72H 750 円	レスキューフーズー食ボックス （牛丼） 1,047 円	ちらし寿司 340 円
<商品の特徴> ・開封し、そのまま食べられるカレーセット ・低たんぱく化したご飯で、食事療法の方も利用できる	<商品の特徴> ・加熱材がセットなので温かい食事がとれる	<商品の特徴> ・アルファ化米使用 ・水を加えるだけで、ちらし寿司ができ、副食なしでも食べられる
<モニター評価> ・ネーミングがわかりづらい ・水分多く柔らかい ・水も熱も使わず便利でよい ・ゴミが少なく避難所などではよい	<モニター評価> ・味、食感は温かくおいしい ・備蓄したい ・発熱材の扱いに慣れておくとよい	<モニター評価> ・災害時の食事に変化がつけられる ・ご飯がボソボソしている ・調理時間1時間は長い
新潟のごはん 200 円	小豆がゆ 158 円	モーリアンヒートパック（発熱材） 3回使用分 463 円
<商品の特徴> ・アルファ化米使用 ・水を加えるだけで少量食べきりサイズ	<商品の特徴> ・開封してそのまま食べられる ・子どもから高齢者、体調を崩している人も利用できる	<商品の特徴> ・火を使わず、水を注ぐだけで、食品を温められる
<モニター評価> ・水で調理をすると芯が残る。ぼそぼそする。調理時間1時間は長い。 ・発熱材で温めると、普段食べているご飯と変わらない	<モニター評価> ・小豆の旨みがある ・高齢者にも食べやすく、水分も取れて良い ・日頃の食事にも使えるので、備蓄したい	<モニター評価> ・いろいろな食品が温められるので、備蓄したい ・蒸気が出るので、扱いになれる必要がある

まとめ

- ・災害食のあることを知っている人は9割と多いが、実際用意している人は6割ほどであり、その割合は年齢に比例し、高齢者ほど高くなっている。
- ・モニターテストした災害食や発熱材について、値段以外はまずまずの評価である。また、様々な食品を温められる発熱材は備蓄に有効と考えられる。

提言

メーカー・販売店…買いやすい価格にしてほしい。そのままもしくは水だけで食べられる災害食や発熱材を身近な店舗で購入できるようにしてほしい。

消費者へ …… 災害食品とともに、日常食べていて食べたら買い替える流通型備蓄と、水があれば食品を温められる発熱材の常備を推奨する。

行政へ …… 市民の備蓄が進んでいないので、災害食への市民の理解を深める機会を多く設けてほしい。